

第4回 学生フェスティバル 新企画「学フェス・カフェ」 募集要項

[企画の概要]

今回の学生フェスティバルでは、新企画として、「学フェス・カフェ」を提案致します。この企画では、テーブルに1人の発表者と7人程度の聴衆とが一緒に座り、発表された内容について自由闊達に議論して頂きます。ポスター発表や口頭発表では行えない、より深い議論をして頂くための発表形式です。

また「学フェス・カフェ」では、ポスター発表や、口頭発表のように発表の形式を限定していないことも大きな特徴です。自分の研究を伝えるために使えるものがあれば、本でもアニメーションでも、何でも使用して頂いて結構です。心がけて頂きたいことは、異分野の方でも十分に分かるような説明をして頂くこと。腰を据えた議論で自分の研究を見直してみませんか？斬新な発表で、皆さんをあっと思わせてみませんか？皆様のご参加をお待ちしております。

[応募上の注意]

- ・演題登録の際は必ず指導教員の方の了承を得てください。
- ・受け付けた演題要旨のホームページ上での公開はいたしません。
- ・要旨は修正などを行わずに要旨集に掲載します。誤字、脱字のないようにご注意ください。

[発表資格]

- ・生命科学研究所、ウイルス研究所に所属する方ならば、どなたでもご参加頂けます。
- ・時間の関係上、発表人数が限られますので、応募者多数の場合は抽選で発表者を決定します。

[発表形式]

- ・本企画はポスター発表の時間に行います。
- ・この企画は、テーブルの上で全ての発表を行って頂きます。発表に必要な道具（パソコン、実験ノートなど）は全て持参して頂きます。
- ・聴衆は、学生フェスティバル参加者の中から、一つのテーブルにつき7人程度を学生フェスティバル委員の方で募集します。（聴衆募集の詳細は、後日みなさまに連絡します。）

企画全体の流れ（予定）

- 1、司会者による発表者の紹介
- 2、発表者による発表（20分）
- 3、聴衆との議論（30分）
 - ・テーブルには飲み物が用意されます。
 - ・司会は学生フェスティバル委員が担当します。発表者との事前の打ち合わせ等については後日、連絡致します。
 - ・発表時間における発表形式は自由です。自分が現在の研究を始めるようになったきっかけや、実験の際に苦労した事柄など、様々なエピソードを織り交ぜながら、自らの研究テーマについて話して頂きたいと考えております。
 - ・パワーポイントを使用する際にも、プロジェクターをこちらでご用意することは出来ません。スライドを大きな紙（A3程度）に印刷して頂くか、パソコンを持参して頂くこととなります。
 - ・発表に使用するものは、テーブルの上で使用できるものでしたら、制限はありません。本や様々なアニメーションなど、普段の研究発表では用いることが出来ないものの使用を歓迎します。

[応募方法]

発表を希望する方は、メール本文に、所属（研究室名）、氏名、学年（役職）、emailアドレス、学フェス・カフェ参加希望の旨を明記の上、発表形式に対応し

たテンプレート（下記参照）に必要事項を記入したものを、添付ファイルで festival4th@lif.kyoto-u.ac.jp（成田）までお送りください。

[提出事項記入方法]

第4回学生フェスティバルホームページ（http://www.lif.kyoto-u.ac.jp/festival_4th/）からテンプレート用Wordファイルをダウンロードし、演題名、発表者名、所属研究科/研究所および研究室、一言アピール、要旨をご記入ください。日本語フォントは「MS Pゴシック」、英字フォントは「Arial」、フォントサイズは10.5を使用してください。

タイトルは堅苦しくなりすぎないようお願い致します。副題をつけて頂いてもかまいません。

（例）省エネで伸びる酵母の寿命 でもそうやって生きて楽しいの？

要旨は詳細に書いて頂く必要はありません。口頭発表やポスター発表のイントロダクションのように、研究の背景、インパクト、魅力について分かりやすくお書きください。です、ます調を用いるなど、親しみやすい雰囲気を書いて下さるようお願い致します。

その他、ご不明な点がございましたら、festival4th@lif.kyoto-u.ac.jp（成田）までお気軽にご連絡ください。